

第3回「(仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画」策定懇談会

日時：令和6年10月24日(木)
【書面開催】

次 第

1 議 題

- (仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について 資料1
＜JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図(案)＞

[配布資料]

- ・ 次第・名簿
- ・ 資料1 (仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について
- ・ 別紙 JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図
- ・ 意見書

第3回「(仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画」策定懇談会 名簿

(敬称略)

分野	所属/職名	氏名
学識経験者	早稲田大学理工学術院 教授	◎森本 章倫
	東京大学大学院 教授	中井 祐
	宇都宮大学 准教授	○長田 哲平
関係団体	JR宇都宮駅西口地区まちづくり協議会 会長	市村 耕三
	JR宇都宮駅西口地区まちづくり協議会 副会長	坂本 守弥
	ゼビオホールディングス株式会社 副社長執行役員	近野 泰
	株式会社日本エスコン 開発事業本部 首都圏開発2部 PM部マネージャー	庄司 元康
	宮の橋・田川活性化プロジェクト実行委員会 実行委員長	村上 龍也
	築瀬地区連合自治会 会長	栗原 伸一
	錦地区連合自治会 会長	増田 良二
	社会福祉法人 宇都宮市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	宮前 俊哉
	特定非営利活動法人 宇都宮まちづくり推進機構 事務局長	寺澤 悦夫
	宇都宮商工会議所 常務理事兼事務局長	小関 裕之
独立行政法人 都市再生機構 東日本都市再生本部 まちづくり支援部 部長	鈴木 孝弘	
交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社 大宮支社 企画総務部経営戦略ユニットユニットリーダー	神保 成究
	JR宇都宮駅西口構内バス協議会 (関東自動車株式会社 代表取締役社長)	吉田 元
	JR宇都宮駅西口構内タクシー組合 (泉タクシー株式会社 代表取締役社長)	荒井 勝
宇都宮ライトレール株式会社 常務取締役	中尾 正俊	
行政機関	栃木県 県土整備部交通政策課 課長	石崎 浩
	栃木県 県土整備部都市政策課 課長	日原 順
	栃木県警察本部 交通部交通規制課 課長	若林 勝也

◎：会長 ○：副会長

※下線の方は人事異動等により新たに就任された委員

資料 1

第3回(仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画策定懇談会

(仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

<JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図(案)>

【趣 旨】

駅西口周辺地区の再編に向け、まちづくりに携わる関係者間でこれまで議論した将来像のイメージを共有し、より一層、官民一体となったまちづくりの検討を深度化していくため、将来イメージ図(案)を作成したことから、ご意見を伺うもの

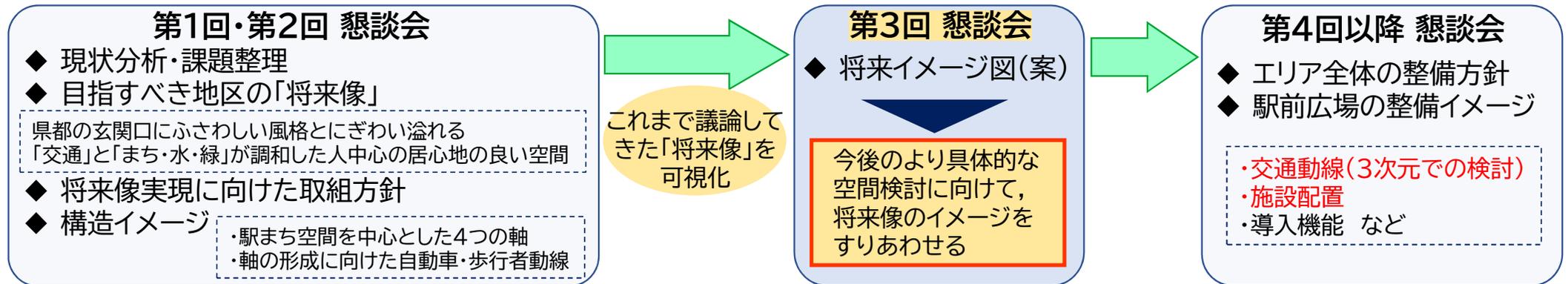
令和6年10月24日(木)
宇都宮市 都市整備部 市街地整備課

- JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図(案)について
 - (1) 将来イメージ図(案)作成の目的
 - (2) 作成にあたっての前提条件
 - (3) 将来イメージ図(案)の特徴
 - (4) 将来イメージ図(案)の説明 ①～③
 - (5) 将来イメージ図(案)の活用
 - (6) 第4回懇談会に向けて

JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図(案)について

(1) 将来イメージ図(案)作成の目的

- JR宇都宮駅西口周辺地区は交通の要衝であるとともに、広域的な交流拠点として、県都の玄関口にふさわしい風格と本市ならではの魅力あふれる空間を創出する必要がある。
- そのため、懇談会などにおいて幅広く意見を聴取しながら検討を進めており、今後、エリアの整備方針や駅前広場の施設整備計画など、より具体的な検討を進めていくにあたっては、基本となる将来イメージを委員の皆様をはじめとする、まちづくりに携わる関係者間で共有し、認識をすりあわせた上で検討を進めることが効果的であると考えことから、これまで行った懇談会の意見などを踏まえながら、将来像を可視化した「イメージ図(案)」を作成した。**【別紙参照】**



JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図(案)について

(2) 作成にあたっての前提条件

項目	前提条件	説明
想定年次	2050年頃	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 駅前広場と周辺民間街区が一体となった将来像を描くことから期間に幅を持たせて「NCC形成ビジョン」が見通す2050年頃とする
空間配置	駅前の滞留空間とそこに隣接する交通空間	<ul style="list-style-type: none"> ➤ にぎわい溢れる魅力的な駅前空間を創出するため、車中心から人中心の空間に転換していく空間配置と東西南北の軸の強化 (懇談会で提示してきた構造イメージ等については次頁のとおり)
コンセプト	交通結節機能の強化と広域交流拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「空間」、「交通」、「景観」、「社会状況」の4つの視点を取り入れる ➤ 将来像である「県都の玄関口にふさわしい風格とにぎわい溢れる「交通」と「まち・水・緑」が調和した人中心の居心地の良い空間」を表現
その他	取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 今回提示する将来像のイメージ図(案)については、JR宇都宮駅西口周辺地区の整備に向けた検討を深めていくために、これまで懇談会で議論してきた内容を基に作成したもの ➤ 駅前広場や周辺開発、交通動線などについては、現時点において確定したものではない <p>例: ・LRT構造については、R2.11に選定した高架案を基本に作成 ・第2回懇談会における構造イメージを基本に作成(人中心のにぎわいと憩いの空間創出など) ・宇都宮駅西口大通り南地区(B街区)についてはR6.1事業説明会のイメージ図を参考に作成 ・宇都宮駅西口南地区(E街区)についてはR6.3事業計画のイメージ図を参考に作成 ・駅前広場や周辺街区の交通動線などについては確定したものではない</p>

第3回懇談会(今回)

駅西口周辺地区の将来イメージ図(案)【別紙】



将来の歩行者動線・自動車動線イメージ



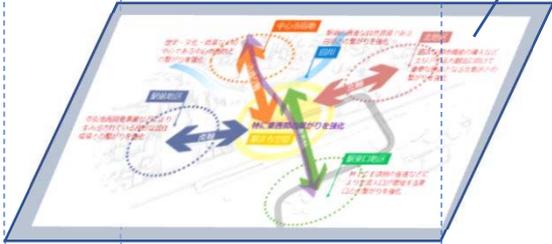
安全で回遊性のある歩行者動線を創出

第2回懇談会(R6.5)

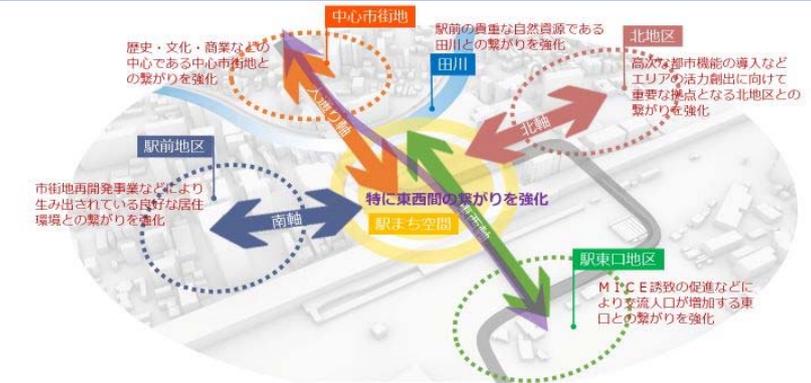


車の滞留を解消するため、各交通モードごとに駅とのアクセス路を整理

第2回懇談会(R6.5)



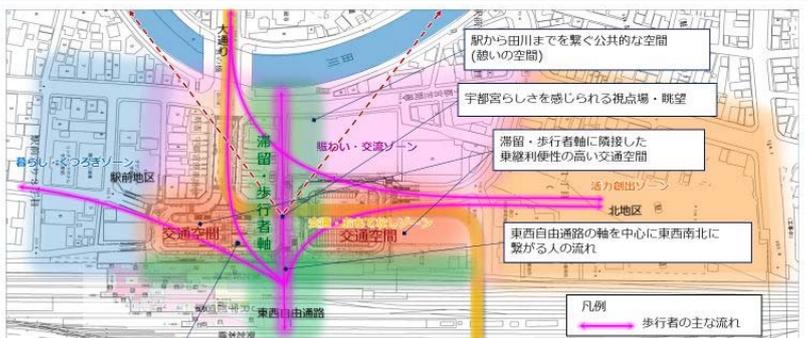
構造イメージ(駅まち空間を中心とした4つの軸)



第1回懇談会(R5.12)



将来像の実現に向けた取組方針



JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想(H25.3)

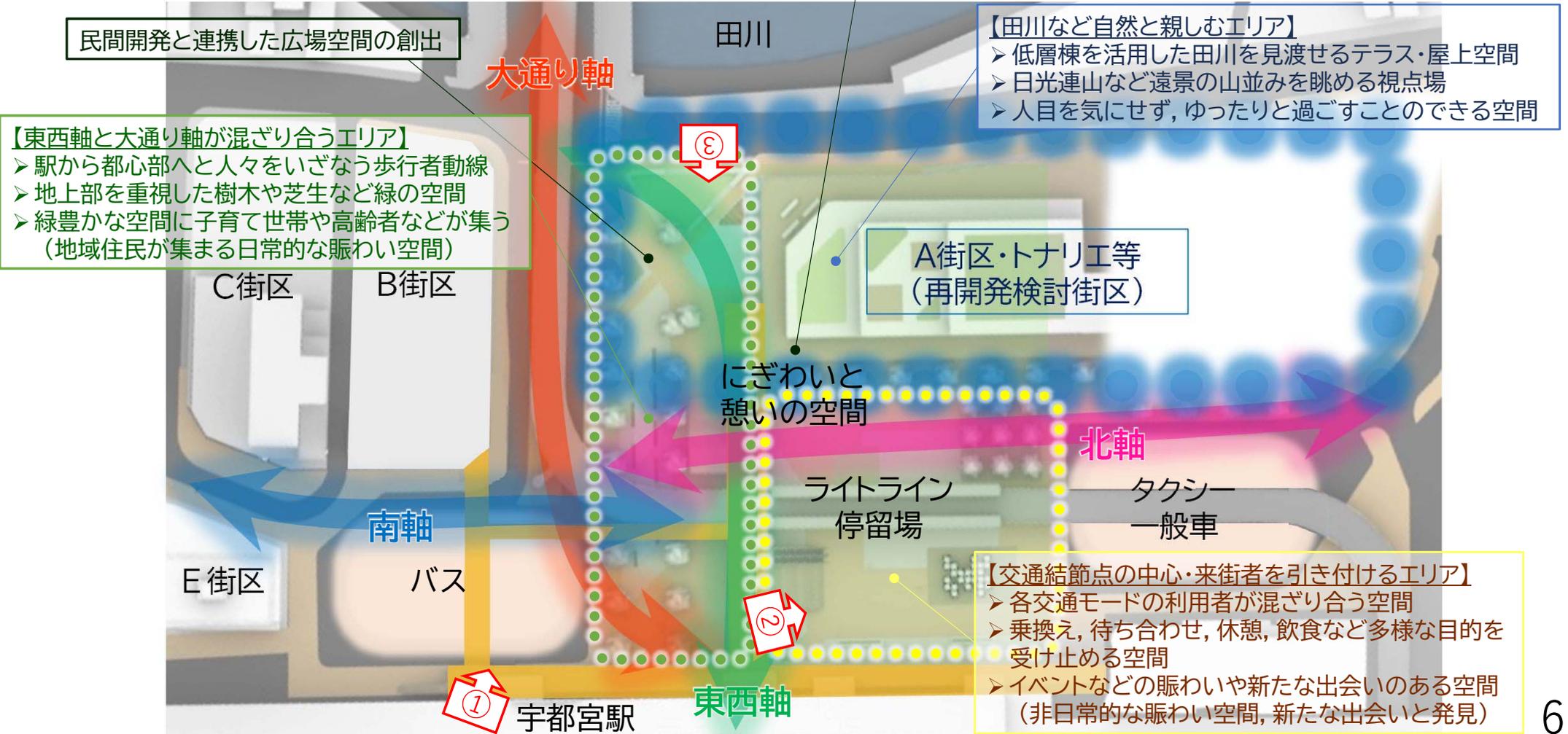


- 【土地利用構想図】
- 活力創出ゾーン**
 - ・ 高次な都市機能を戦略的に誘導
 - ・ 低未利用地の有効活用を図る
 - 賑わい・交流ゾーン**
 - ・ 広域的な交流拠点として人々を引き込む
 - ・ 賑わいを創出する魅力的な都市空間を形成
 - 交通・おもてなしゾーン**
 - ・ 本市への来訪者を迎える玄関口にふさわしい空間を形成
 - ・ 交通結節点として機能を強化
 - 暮らし・くつろぎゾーン**
 - ・ 人々が生活し、憩いと繋がる空間づくり
 - ・ まちなか居住推進や生活利便性の向上



JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図(案)について

(3) 将来イメージ図(案)の特徴 これまでの懇談会で示してきた人中心の駅まち空間形成に向けた「にぎわいと憩いの空間」を創出



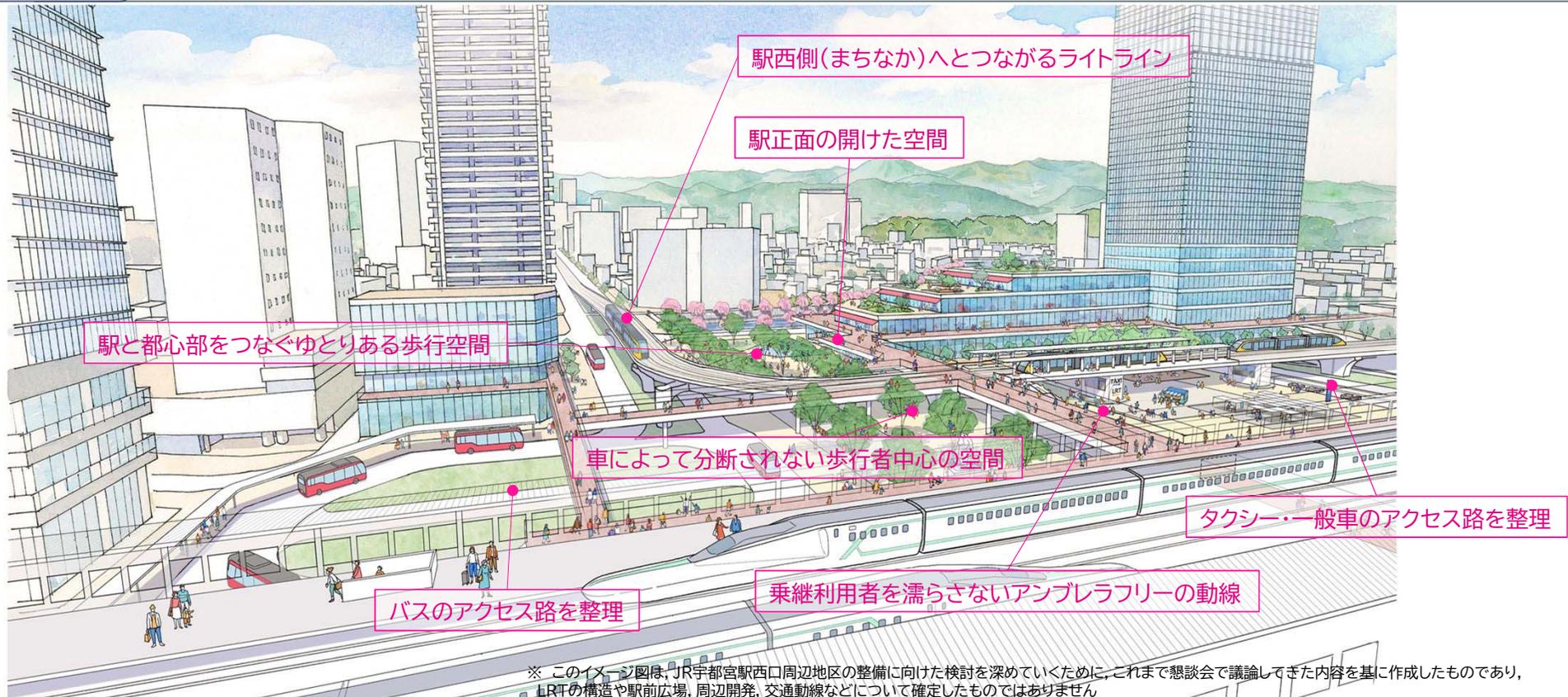
JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図(案)について

(4) 将来イメージ図(案)の説明

① JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ(駅舎上空から駅前広場の鳥瞰パース)

コンセプト

まちなかと駅をつなぐ、人とライトラインやバス、タクシーなど各交通モードと共存した人中心のウォークブルな空間イメージ



JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図(案)について

(4) 将来イメージ図(案)の説明

② 2階 東西自由通路出入口付近より北方向(アイレベル)

コンセプト ライトライン、鉄道、バス、タクシーなどの各交通モードの利用者が行き交う新たな駅前の顔となる空間イメージ

空間を利用している様子 乗り継ぎの合間に休憩や飲食など気軽に来訪者が空間を利用したり、多彩なイベントの開催など非日常的な賑わい空間として利用している

ライトライン、鉄道、バス、タクシーなどの交通結節の中心となるエリア



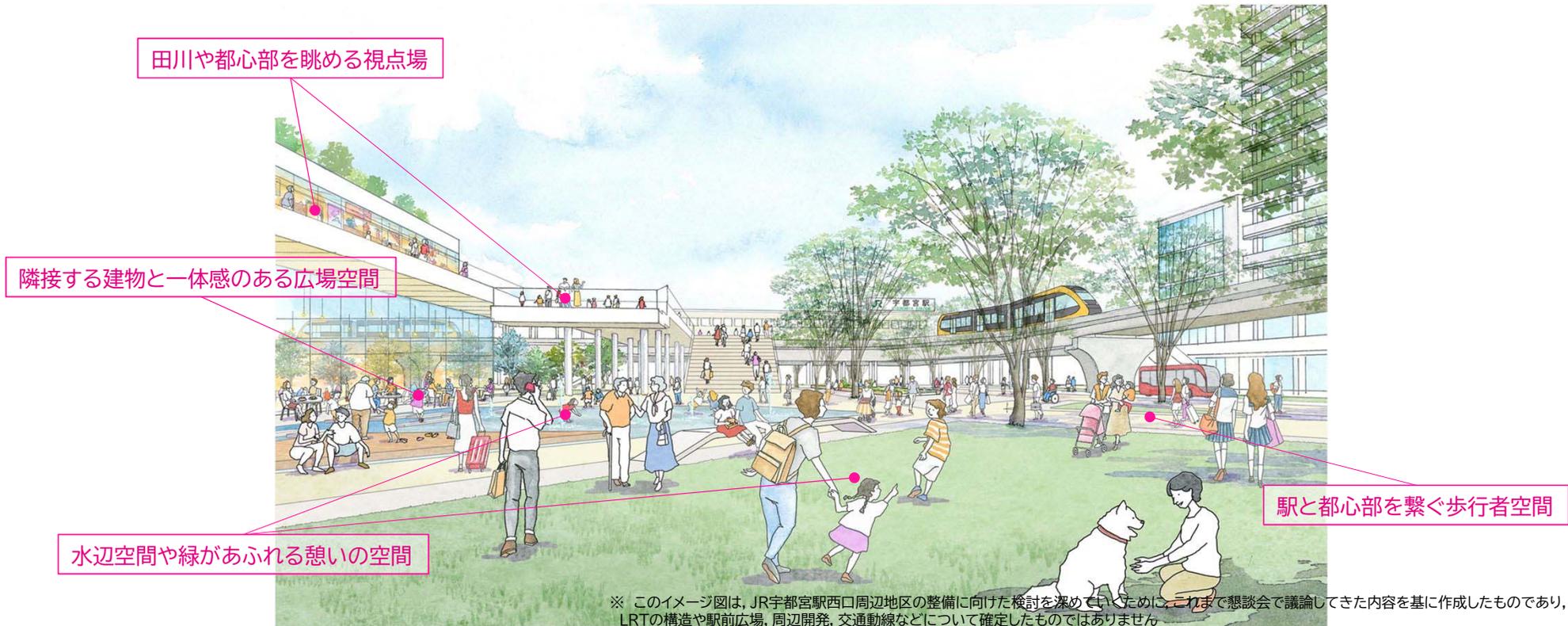
JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図(案)について

(4) 将来イメージ図(案)の説明

③ 1階 田川側から駅舎方向(アイレベル)

コンセプト まちなかと駅をつなぐ周辺民間街区と一体となった緑あふれる人中心の居心地の良い空間イメージ

空間を利用している様子 働く人や学ぶ人など多くの人が身近な水辺や緑を感じながら楽しく歩いたり、子育て世代や高齢者など幅広い世代が集い利用している



(5) 将来イメージ図(案)の活用

- 第3回懇談会において駅西口周辺地区の将来イメージを共有し、今後の空間形成の検討(駅前に導入するまちの機能や施設配置など)の深度化を図っていく。
- 市民にとっても分かりやすくイメージ化し、第3回懇談会以降はオープンスクエアやまちづくりに関する勉強会などにおいて活用することで、まちづくりに対する機運醸成や、市民理解の促進につなげていく。

(6) 第4回懇談会に向けて

- 第3回懇談会において、今回作成した将来イメージ図をまちづくりに携わる関係者間で共有し、ご意見をいただくとともに、第4回懇談会においては3Dイメージなどをお示ししながら、駅西口周辺地区に必要な都市機能や交通動線などについて意見交換を行う